

三重県サッカー協会  
会長 岩間 弘 様

鈴鹿市内におけるサッカー場建設について（依頼）

仲秋の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、サッカーのみならず県内のスポーツ全般の普及・発展のため、ご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、今期から鈴鹿アンリミテッドFCがJFLに昇格したことに伴い、県内からは、2チームが全国を転戦し、J3への昇格を目指しています。鈴鹿市では、鈴鹿を本拠地とするチームがJFLに昇格したことを受け、ホーム戦ではサポーターの皆さんを中心とし、スタンドが一体となり、チームに熱い声援を送っている姿が見られます。

このような事から、我々もサッカーを核として、様々な世代の人たちが触れ合い、交流できる場を提供しようと考え、鈴鹿市にサッカー場を建設する計画を打ち出しました。

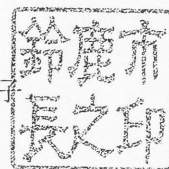
Jクラブは、その100年構想の理念から「地域の重要無形文化財」として「ソーシャルビジネス」（社会的企業）としての性格を持っています。地域の皆さんの地域愛の源となり地域の経済効果のみならず、鈴鹿の元気や活力を増大させるきっかけになると考えます。そのJクラブがホームタウンとするサッカー場につきましても、今後のチームの成長に伴いまして、地域のランドマークとなれる場所への建設も必要であり、その立地の優位性などを考慮した結果、「鈴鹿青少年の森」敷地内が最適であると判断しました。

スタジアム建設にかかる県民推進会議にてスタジアムの建設を検討していただいているところですが、我々の考えるサッカー場も、子供たちや社会人、学生、高齢者など、鈴鹿市の全てのスポーツチームと連携し、互いに活気を生み出し、また、鈴鹿サーキット様とのコラボレーションなどを通じて、皆さんに愛され気軽に訪れていただく事を考えております。

このように地域の皆さんに愛され、地域のランドマークとなり得るサッカー場の建設に対しまして、今後につきましても、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月13日

鈴鹿市長 末松 則子



鈴鹿市サッカー協会 会長 太田 正明



(株) アンリミテッド 代表取締役 山岡 竜二

